

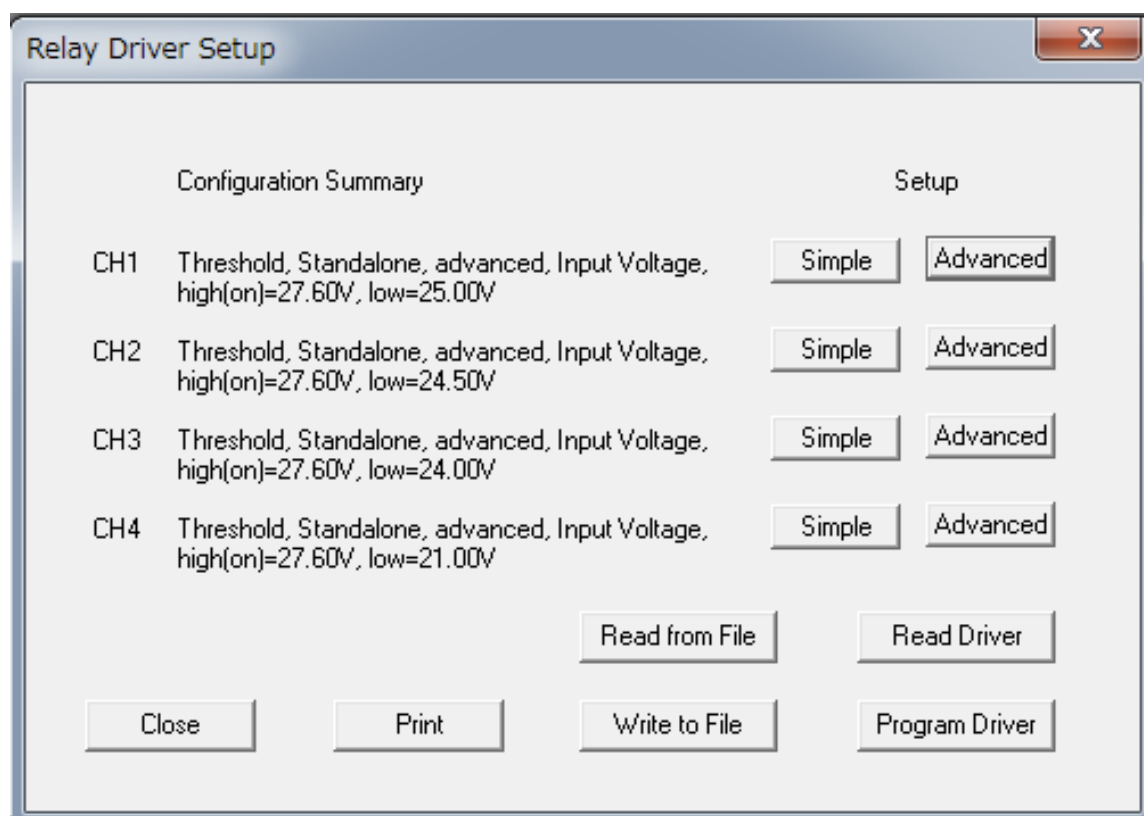
R D-1 テンプレート 設定説明

○はじめに

本説明書は、このフォルダーに入っている、リレードライバー（RD-1）の各種テンプレートの設定内容と MSView ソフトへの読み込み方法を記したものです。

（尚、リレードライバー用ファイルの拡張子は、.mrelay です。）

1. スタンドアローン使用ファイル



リレードライバー（Setup）例（24V）

1-1. ファイル名：12V_Standalone_4ch_Set.mrelay

システム電圧：12V

設 定 機 種： Standalone（自立動作）

CH1：遮断電圧＝12.50V 復帰電圧＝13.80V

CH2：遮断電圧＝12.25V 復帰電圧＝13.80V

CH3：遮断電圧＝12.00V 復帰電圧＝13.80V

CH4：遮断電圧＝11.50V 復帰電圧＝13.80V

CH1～CH4：遮断・復帰遅延時間＝各10分

1-2. ファイル名：24V_Standalone_4ch_Set.mrelay

システム電圧：24V

設定機種：Standalone（自立動作）

CH1：遮断電圧=25.00V 復帰電圧=27.60V

CH2：遮断電圧=24.50V 復帰電圧=27.60V

CH3：遮断電圧=24.00V 復帰電圧=27.60V

CH4：遮断電圧=23.00V 復帰電圧=27.60V

CH1～CH4：遮断・復帰遅延時間=各10分

1-3. ファイル名：48V_Standalone_4ch_Set.mrelay

システム電圧：48V

設定機種：Standalone（自立動作）

CH1：遮断電圧=50.00V 復帰電圧=55.20V

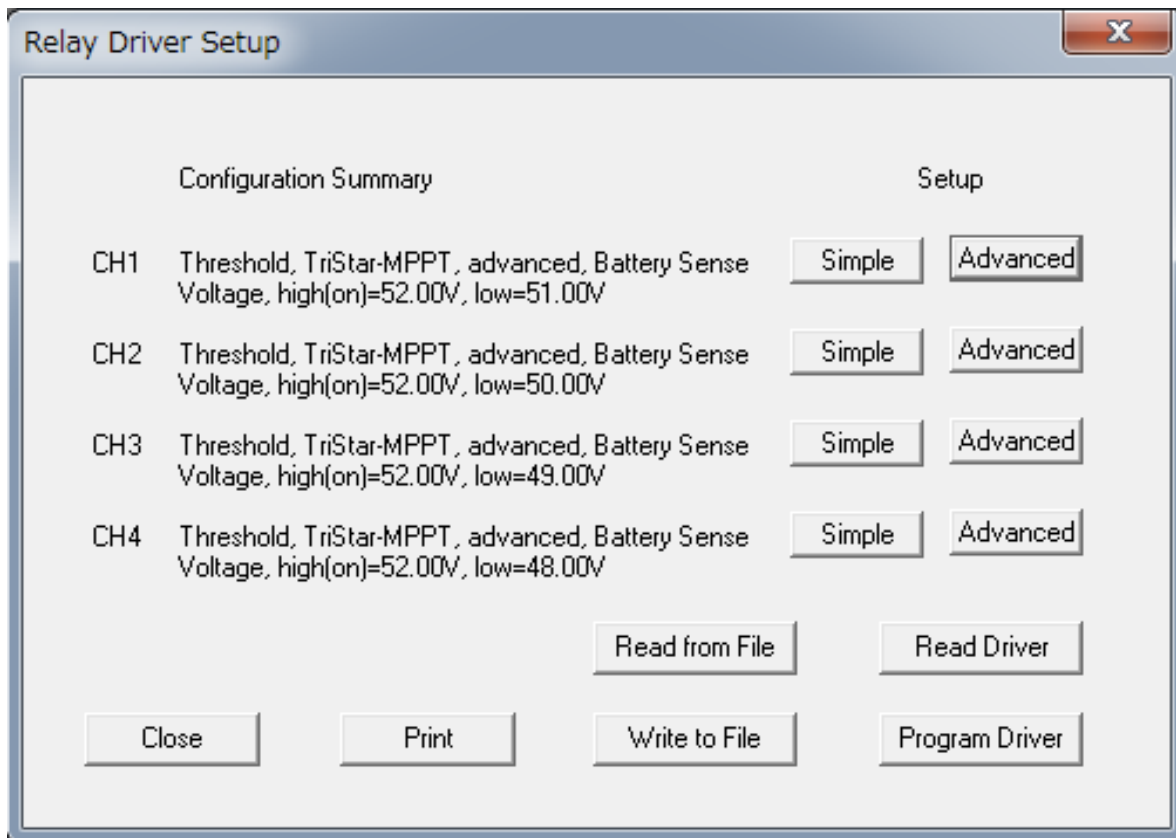
CH2：遮断電圧=49.00V 復帰電圧=55.20V

CH3：遮断電圧=48.00V 復帰電圧=55.20V

CH4：遮断電圧=46.00V 復帰電圧=55.20V

CH1～CH4：遮断・復帰遅延時間=各10分

2. TriStar MPPT 接続使用ファイル



リレードライバー（Setup）例（48V）

2-1. ファイル名：12V_TS-Mppt_4ch_Set.mrelay

システム電圧：12V

設定機種：TriStar MPPT 接続

CH1：遮断電圧=12.75V 復帰電圧=13.00V

CH2：遮断電圧=12.50V 復帰電圧=13.00V

CH3：遮断電圧=12.25V 復帰電圧=13.00V

CH4：遮断電圧=12.00V 復帰電圧=13.00V

CH1～CH4：遮断・復帰遅延時間=各10分

2-2. ファイル名：24V_TS-Mppt_4ch_Set.mrelay

システム電圧：24V

設定機種：TriStar MPPT 接続

CH1：遮断電圧=25.50V 復帰電圧=26.00V

CH2：遮断電圧=25.00V 復帰電圧=26.00V

CH3：遮断電圧=24.50V 復帰電圧=26.00V

CH4：遮断電圧=24.00V 復帰電圧=26.00V

CH1～CH4：遮断・復帰遅延時間=各10分

2-3. ファイル名：48V_TS-Mppt_4ch_Set.mrelay

システム電圧：48V

設定機種：TriStar MPPT 接続

CH1：遮断電圧=51.00V 復帰電圧=52.00V

CH2：遮断電圧=50.00V 復帰電圧=52.00V

CH3：遮断電圧=49.00V 復帰電圧=52.00V

CH4：遮断電圧=48.00V 復帰電圧=52.00V

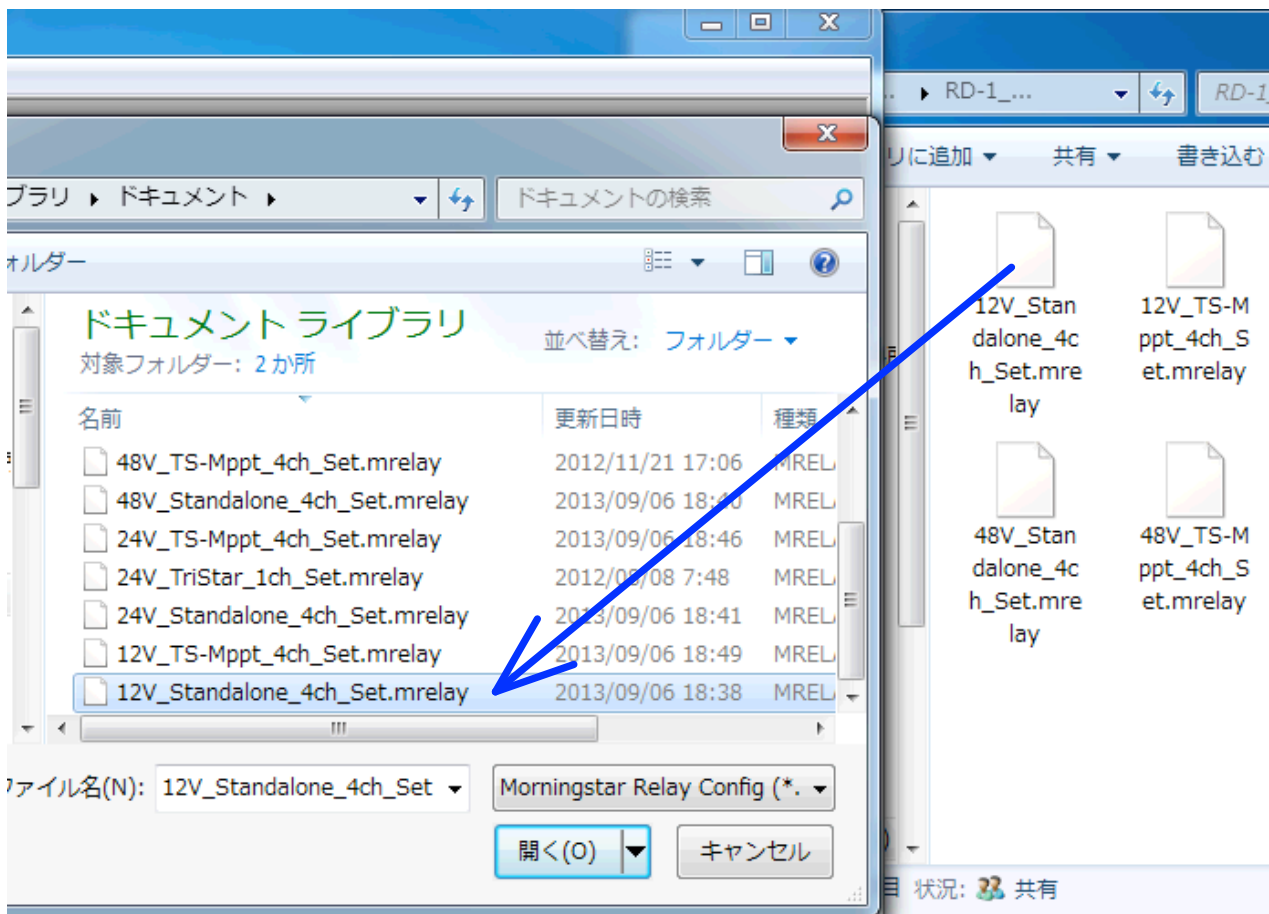
CH1～CH4：遮断・復帰遅延時間=各10分

3. RD-1 ファイルの MSView への取り込み方法

リレードライバーファイルのデフォルト階層は、
c / ユーザー / 「ユーザー名」 / マイドキュメント
に設定されています。

マイドキュメントへRDファイルを移動して MSView から開く事ができます。

MSView の「Read File」で、下図の様にドラッグ移動でも可



MSView の操作は「MSViewプログラミング入門」を参照下さい。

KiRYU

2013/09/15
株式会社 桐 生